

ご存知ですか？「はかり」には2年に1回の「定期検査」があることを！

令和2年度は、「はかり」の定期検査の年です。下記の日程で検査会場を設けますので、**取引や証明のため「はかり」を使用している事業者さん**は、検査を受けるようお願いします。

| 会場 | 期日 | 時間 |
|-----------------------|--------------|-----------|
| 宮良自治公民館 | 令和2年8月18日（火） | 9時半～11時半 |
| 白保自治公民館 | 〃 8月18日（火） | 13時半～15時半 |
| 石垣市IT事業支援センター | 〃 8月19日（水） | 9時半～16時 |
| 石垣市健康福祉センター | 〃 8月25日（火） | 13時半～16時 |
| 石垣市公設市場 | 〃 8月26日（水） | 13時半～16時半 |
| 川平自治公民館 | 〃 9月8日（火） | 10時半～13時半 |
| 川原自治公民館 | 〃 9月9日（水） | 10時半～15時半 |
| 伊野田自治公民館 | 〃 9月15日（火） | 10時半～15時半 |
| 沖縄県八重山合同庁舎 1階第1会議室 | 〃 9月16日（水） | 9時半～15時半 |

【問合せ】 沖縄県八重山事務所 総務課：0980-82-3040

市役所商工振興課：0980-82-1533

◆検索ワード「八重山事務所 はかりの検査」

健活

あなたの暮らしの
健康サポート

保健だより

こどもの自己主張とイヤイヤ期 ～乳幼児の心理～

石垣市健康福祉センター 保健師 高嶺 善勇



子どもが1～2歳頃になり、「イヤ！」と言うようになったら、自己主張ができた証拠であり、ここから自立への大切な一歩が始まります。ごはんを食べるのも「イヤ！」お風呂に入るのも「イヤ！」“何でもかんでもイヤ！”と言う子どもに対して、親はどう対応をすればいいのでしょうか。

○子どもが「イヤ！」といったときの対応

この年齢の子どもが「イヤ！」と言ってしまうのは、自分の感情をうまく表現できないことにあります。まずは、どうして子どもが「イヤ！」と言っているのか考えてみましょう。例えば、「本当に嫌だから？」「遊びたいから？」など、理由を考えることによって子どもへの理解が深まり、親自身の心も落ち着きます。親としては、カチン！とくることもあると思います。しかし、叱ってしまうと子どもはますます欲求不満になり、「かんしゃく」を起こします。

○子どもが「かんしゃく」をおこしたときの対応

子どもがかんしゃくを起こすのは、子ども自身が、自分ではどうしようにもできない状態になり、不安になったことにあります。かんしゃくを起こした子どもに必要なことは、そばにいてあげること、感情的にならないこと、安全と安心を与えることです。そして、かんしゃくが治まったあとで、子どもと色々な気持ちについて話して、気持ちを行動ではなく、言葉で表現することを教えましょう。

○子育ては、親が孤立しないで楽しむことが必要です

子どもは親から学び成長しますので、大切なことは、親自身が気持ちのコントロールを失わないようにすることです。一般的に、イヤイヤ期やかんしゃくは3～4歳まで続き、4～5歳までには治まると言われています。もし、その期間にかんしゃくが激しすぎる、なかなか治まらない場合は、子どもが通う保育施設の先生、発達相談機関、かかりつけの医者などに相談してください。親の心が安定していることが、イヤイヤ期を乗り越える近道です。